

# 中小企業省力化投資補助金 計画書の作成例①

## 1—2. 経営課題

強み×機会	●
強み×脅威	●
弱み×機会	●
弱み×脅威	●

- 現状、「強み・機会」からは、〇〇〇〇が期待できる。
- 「弱み・脅威」の〇〇〇〇は深刻。〇〇〇〇による克服は急務。

## 1—3. 省力化補助金活用の動機・目的

### ①省力化投資の動機・必要性

現状、……。それが、……。など、……といった問題につながっていた。さらに、……にもつながる悩みがあり、この課題の克服は急務となっている。

しかし、現在の体制のままでは、……がボトルネックとなって、克服が難しい。現リソースを総合的に考慮すれば、機械化・自動化による克服を目指すことが最適かつ現実的である。機械化・自動化により、人材が付加価値の高い業務に専念できる体制を構築し、抜本的な課題の克服と、成長の加速を図る。

### ②省力化投資の目的

機械化・自動化により、……を図り、……を実現、……を軽減することで、人材を付加価値の高い業務に配分する。そうすることで、「生産性の向上」「利益率の改善」「給与アップ」などを実現していく。「生産性の向上」や「利益率の改善」は、採用強化などにもつながっていくため、会社全体の持続的な成長につながっていく。

### 計画書作成例のポイント

空欄が多く、申し訳ありません。

計画書は、上記の作り方で、だいたい7～10枚ぐらいで採択されております。

本補助金は、目的と取り組み内容が明確なので、だいたい同じようなストーリーになります。

なぜ省力化するのか、それは本当に成長につながるのか。

そういったことをしっかり説得できるよう、端的で分かりやすい文章で作るように心がけています。